

令和 4年 1月24日

入居者及び身元引受人等の皆様へ

サンリッチ伊東  
施設長 黒柳 達也

## 入居者運営懇談会の書面報告について

現在、新型コロナウイルス感染症の流行が続いており、終息の目途がたっておりません。新型コロナウイルスのクラスター（集団）発生のリスク回避には、近距離での会議や会話及び人ごみを避けることが有効と言われておりますので、昨年引き続き今回もご案内のとおり書面報告をさせていただくことになりました。ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

昨年は当施設においても新型コロナウイルスの感染が発症いたしました。計4人（ご入居者3名、職員1名）でした。入居者皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。ご協力を賜り感謝いたしております。

今後も新型コロナウイルス感染症の予防対策を継続していく必要があります。今まで同様にご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 「報告事項」

#### ① 前払金（一時金）返還債務の保全状況について

この報告は、下記説明のとおりです。

- ・当施設は公益社団法人全国有料老人ホーム協会の入居者生活保証制度に加入していますので、前払金（一時金）返還債務の保全については、この制度を利用いたします。この制度は、前払金の返還債務保証（返還される前払金残高の保証で上限500万円まで）や破産等により全員退去となった場合には、上限100万円までが保証（前払金の残高が100万円未満のときには、前払金の保証と合算で100万円までを保証）されます。

#### ② 介護職員配置体制・勤務形態などについて

この報告は、(P2～5) のとおりになります。

- ・職員の体制については、法的な人員配置基準を遵守しています。

#### ③ 1年間の運営報告について

この報告は、(P6～8) のとおりになります。

#### ④ 決算報告について

この報告は、(P9～11) のとおりになります。

- ・当初計画より収益が少なかったために法人税等の還付額計上（流動資産増）
- ・自動車の入替をしました。（有形固定資産増）
- ・国より新型コロナウイルス感染症にかかわる交付金を受領（雑収入増）
- ・部門別収支報告書の収支差は赤字になっています。新型コロナウイルス感染症の流行の影響を受けて、管理費部門、食費部門、介護費部門の収入は減少しています。これは新入居者の入居希望の自粛に伴い在居者数が減ったからであります。しかし、運営上支障を来たすことはありません。
- ・今後は新型コロナウイルス感染症の状況にもよりますが、少しずつ新入居者の受け入れをしていきたいと思えます。

#### ⑤ 入居者数及び介護者数及び入居期間の状況について

この報告は、(P12) のとおりになります。

- ・85歳以上の入居者の方が多くなっています。

#### ⑥ その他

##### (A) 改修工事

- ・1F（居室廊下、共用部廊下、レストラン）の改修を行いました。

##### (B) 新型コロナウイルス感染症流行の影響について

- ・新入居者の受け入れを自粛しました。そのため、在居者数が減り決算数字にも影響がありました。運営上は特に問題はありません。

以上の書面報告について、ご意見やご質問をお気軽にお寄せくださいますようお願いいたします。